

一般社団法人朝霞地区薬剤師会

あさやくだより

第26号



(一社)朝霞地区薬剤師会

発行人:広報委員長 関 昌之

〒351-0021朝霞市西弁財1-10-21-312号

TEL:048-483-4125 FAX:048-483-4126

asaka-ph@asakaph.or.jp

会長挨拶

日頃は朝霞地区薬剤師会が大変お世話になっております。さて6月の定時社員総会では改選があり、わたくし大八木が引き続き会長を務めさせていただくことになりました。新旧理事及び監事を含めた16名体制で今後2年間、会のために尽力を注ぐ覚悟でまいりますのでご協力をお願いします。

さて今年度より、地域連携委員会の一部であった地域フォーミュラ部会を新たに地域フォーミュラ事業としてスタートしました。

「経済財政運営と改革の基本方針2025厚生省」に地域フォーミュラについて明記されており、「骨太方針2025」にも地域フォーミュラの全国展開の推進についても記載がされた事を重視し、委員に正副会長を含めて事業の推進を図りたいと考えました。朝霞地区薬剤師会では3年前より地域フォーミュラについての取り組みを始めており、医師会・歯科医師会及び行政からも協力を得て進めております。この地域フォーミュラの活動によって、「地域EBM」に基づいた安定的な医薬品確保、安心で安全な医療、さらに医療費にも貢献できることを目

指したいと考えています。そのためには、地域の医療者みなさんのご理解も必要です。また、日本フォーミュラ学会とも連携して進めたいと思います。

次に、現在日本薬剤師会が進めている医薬品提供体制についてです。麻薬や緊急薬などを含め、地域内で確実に医薬品が供給できる体制を作るためには、薬局間の連携が必須です。そこで各薬局が持つ機能情報を共有することにより通常業務だけでなく在宅医療や夜間・休日にも医薬品が提供できる地域医療体制を構築することを進めなければなりません。また災害時においても薬局機能情報を共有することで地域全体の医薬品状況などが把握できると考えております。よって今後薬局機能情報の提供依頼をさせていただく予定です。

また災害時における安否確認など情報共有や情報配信などさせていただくために新たに「朝霞地区薬剤師会LINE」を作成しました。皆様方にはぜひとも登録していただくようお願い申し上げます。

会長 大八木 実・あおぞら薬局



第11回定時社員総会報告

6月7日、志木市市民会館臨時会議室において、一般社団法人朝霞地区薬剤師会第11回定時社員総会を開催しました。議決数を有する社員総数は、個人会員88名、薬局会員119名、計207名。有効委任状・決議権行使書113名、当日出席者数23名、合計決議件数136名で規定により定足数を満たしている旨、司会の斎藤理事から総会成立が報告され、細川理事を議長とし議事が進められました。

第1号から第5号まですべての議案が全会一致で承認されたこと、会員の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

新たに3人の理事を迎える事になりました。株式会社かくの木：猪股鉄也理事、かくの木薬局：上妻加奈理事、ミドリの薬局：金子修治理事です。また畑中典子理事、清水勝子理事には監事として新体制を見守って頂く事になりました。

昨年度に引き続き、代表理事・会長大八木実、副会長細川玄機、須田友子、斎藤武志、内野裕嗣の4人の支部長を中心として、理事14名、監事2名の体制で事業を進めて参ります。今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い致します。

理事・広報委員長 関 昌之・ウイン調剤けやき薬局



第27回参議院選挙報告

薬剤師議員本田あきこさんの2期目当選を目指して

令和7年7月18日、これまでの集大成として北朝霞駅で本田あきこさんの17日間の選挙運動の最終街頭演説がありました。

私は19日新宿でのマイク納めを見届け、20日の投票日から21日の当選まで都内の日本薬剤師連盟事務所に詰めその時を待ちました。

なかなか集計が動かずドキドキしましたが、比例候補者31名、獲得比例議席12席中第11位で当選。獲得票数152,518票（総務省 開票結果）。逆風の中の見事な当選、花束贈呈をさせていただきました。

6年前の第25回選挙時、埼玉県は4,297票。今回は5,729票と1432票のアップ。この数字は日本一のプラスでした。

朝霞支部は301票（前回245）、56票アップ。会員数149（A会員119、B会員30）対会員率202%。

朝霞市98票（前回83）

志木市43票（前回33）

和光市60票（前回43）

新座100票（前回86）

目標数を320票と立てていましたが近い数字が出ました。



大八木会長はじめ4市の副会長の対応と、皆様のご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

埼玉県薬剤師連盟 朝霞支部長 渡邊 美知子

第6回 市民フォーラム開催します♪

朝霞地区薬剤師会は、10月19日（日）、第6回市民フォーラムを昨年同様志木市民会館で開催いたします。

医師の講演は志木南口クリニックの寺本先生にご依頼いたしました。

薬剤師会は、携わっている事業を発信し、キッズファーマシー、お薬相談、健康機器での検診等のイベントを開催し、市民の皆様の健康増進に寄与したいと思います。

今回は、県薬剤師会の『薬と健康の週間イベント』との共催になります。丸井1階で開催されるため、多数の市民の皆様を集めたいと思います。詳細が決まり次第、協力薬剤師の募集を開始いたしますので、皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

副会長・市民フォーラム部会長 内野 裕嗣・さつき薬局

今後のイベント

◆わこうスポーツ祭り×BOSAIフェア2025

10月13日（月・祝）

和光総合体育館・県営和光樹林公園

◆新座快適みらい都市市民まつり健康まつり

10月19日（日） 新座市保健センター

◆朝霞市防災フェア

11月8日（土） くみまちモールあさか

◆志木市健康まつり

11月16日（日） 志木市健康増進センター

詳細が決まり次第、募集案内いたします。

朝霞地区会員専用公式LINE「あさやく公式LINE」 参加のお願い

よろしくお願いします

朝霞地区薬剤師会では、災害時安否確認の手段を模索しておりましたが、この度「あさやく公式LINE」を開設いたしました。

携帯電話が通じないなど大きな障害が生じる災害時に、連絡網や情報収集などにおいて比較的安定的なのはLINEであると言われております。そこで、「あさやく公式LINE」を使い、会員の皆様に安否確認アンケートを送付、ご回答いただく他に、今後当薬剤師会からの様々な情報発信にもLINEを利用していく予定です。

9月中旬には、このLINEを用いて安否確認訓練を行います。

会員薬局の皆様は、それまでに必ずご登録くださいますようお願いいたします。管理薬剤師だけでなく、個人会員の皆様もご登録ください。

薬局のスマートフォンでも個人のスマートフォンでも構いませんので、非常時に連絡が取れる端末から左記QRコードを読み取り、友だち追加をお願いします。

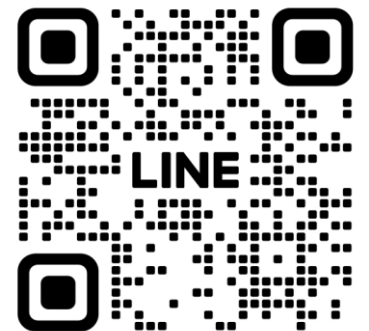
できるだけLINEの使用をお願いしておりますが、LINEの使用がどうしてもできない場合には、anpi.asakaph@asakaph.or.jpまでメールでお知らせください。

ご協力よろしくお願いいたします。

副会長・災害対策委員長 細川 玄機・三原薬局



あさやく公式LINE
友だち追加



コラム：黒目川の薬箱 「薬局の身売りと生き残り」

私たち薬剤師は2年に1回、住所や勤務先などについて保健所に報告をします。その統計を見ると、「薬局開設者又は法人代表」という業務種別の人数は分業が本格化する前の1990年代には薬局薬剤師の3人に1人だったのが、現在は薬局薬剤師の11人に1人まで減少しています。もう少し正確にいうと、約30年間で薬局経営者は増えた人数よりも減った人数の方が4000人ほど多く、一方、薬局で働く薬剤師の人数そのものは13万人増えています。

以前から、薬局という組織の責任の所在については、企業としての責任を負う開設者と薬学的な責任を負う管理薬剤師との乖離が問題として指摘されてきました。極端な例を挙げると、最近、大手調剤チェーンが投資ファンドに身売りするという発表がありました。昨年は香港の投資ファンドによる買収という動きもありましたが、今回は実際に売れました。薬局を投資対象として実際に売買するようになると、「企業価値を高める」という名目で「MBAをもった経営のプロがCEOとして送り込まれて、不採算店の撤退や人員の削減といった大鉈を振るう」といったリストラが行いやすくなります。

これは憶測で、実際にこうなるかはわかりませんが、可能性としては開設者の責任は薬局からも離れ、株主に対する責任というところまで乖離することも制度的にはありえるということです。

本来の薬局は、多少の不採算はあっても医療を維持しなければならず、同時に最終的に利益が出なければ存続できません。調剤報酬は頭打ちになり、薬局も飽和しつつある中で薬局経営者の存在感が希薄化していくという現状を踏まえつつ、「自分自身が薬剤師として生き残ること」「自分の薬局を守る」「地域医療を守ること」という3つの課題を解決する責任を誰が負うのか？ということが長期的な問題になってくるのではないのでしょうか。

その対策として、まず必要な第一歩（決して十分ではありませんが）は、地域の薬剤師なり薬局なりのネットワークの中で「あの薬局のあの人はこんなことを考えていそう」という想像力をお互いに働かせられるような関係を構築することなのかなという気がします。

広報委員 田代 健・地球堂薬局



委員会報告

◆地域連携委員会・行政連携部会報告

昨年度は新座市より3年目となる重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導委託を受け、地域連携委員会 ポリファーマシー部会が担当させていただきました。本事業ではレセプトのデータから重複投薬、頻回受診の可能性がある方が対象となります。昨年度も対象者の抽出から部会が関わらせていただき、4名の方が該当となりました。多剤服用、同効薬の複数医院からの処方、漫然投与の可能性のある方に対して既往歴、内服中の薬、生活状況、主治医、かかりつけ薬局などについて直接聞き取り、重複投与、頻回受診を解消するために必要な支援を検討し、解消につなげることができた方もいらっしゃいました。昨年度で新座市の事業は終了となりました。ご協力いただきました薬局の皆様、ありがとうございました。

志木市では昨年度に引き続き事業が継続され、ポリファーマシー部会から名前を変更した行政連携部会が協力させていただくことになっています。レセプトより重複頻回受診・重複多剤服薬のリスクがあると思われる方へ、受診・服薬状況を記載した通知を送付されます。その通知を持って来局された方へ適正受診・適正服薬に関する指導をお願いします。今年度より対象が国民健康保険の方だけでなく、後期高齢者医療保険の方も対象になり、対象者が大幅に増えています。服薬情報通知は下記QRコードからご覧ください。市民の方が通知を持って来局された際にはご協力お願いいたします。

また今年度は4市の事業だけでなく、厚生労働省委託のポリファーマシー対策事業が埼玉県薬剤師会をモデル地区として実施されます。薬剤調整支援者に任命された方、事業へ参加される方は合わせてご協力のほどよろしくお願いいたします。

今年度も皆様のご協力どうぞよろしくお願いいたします。

理事・地域連携副委員長

上妻 加奈・かくの木薬局

志木市服薬情報通知見本



新規会員薬局紹介

◆薬局トモズ 和光店

〒351-0114 和光市本町3-23 ・TEL 048-423-6337

管理薬剤師 山崎 舞子

門前である恵愛生殖医療医院をはじめ、その他近隣医療機関の処方箋を多数応需しております。

また、在宅の処方箋も対応しており、弊社の在宅専任の薬剤師と連携し、訪問を行っております。

『かかりつけドラッグストア』をスローガンに掲げ、皆様のかかりつけとして頂けるような親切丁寧な接客対応を目指して参ります。



◆第1回研修会報告

7月24日、志木マルイにて今年度第1回の研修会が行われ、講師に至人会圏央所沢病院透析科、透析センター長の犬前清嗣先生、新座志木中央総合病院 循環器内科部長古谷啓人先生をお招きしてご講義を賜りました。

透析患者をたくさん診てこられた先生からは、患者が水分制限などで便秘傾向になり、腸内環境の変化によって起きるバクテリアトランスロケーションが敗血症などの感染症を誘発し、死に至る為という説明を受けました。

また、水分制限が腸管バリア機能を低下させ、更には便量の低下に伴い相乗的に腸内細菌過多にさせるといふ悪循環が起き、病原菌の増加によって感染も起こりやすくなるという構図をお聞かせいただきました。その上でも先生が長年研究されているプロバイオティックスによって腸内細菌を整えることは大事であると思いました。

高齢者のほとんどは腎機能低下の症状を抱えており、透析患者の方と接する機会も増えているこの頃です。病院薬剤師だけでなく、薬局薬剤師としても、腎機能低下の方の便秘にも目を向けていく必要があると感じたご講義でした。

研修委員 須藤 美也・新倉健康薬局



◆第2回研修会報告

8月28日に志木市民会館仮設会議室において、「アンチ・ドーピング活動への参画」をテーマに第2回研修会が開催されました。

講師にスポーツファーマシストとして、ライフセービングやアメリカンフットボール日本代表のサポート、競技団体のアンチ・ドーピング啓発などに携わっておられる錦織功延氏をお迎えして、薬局薬剤師がアンチ・ドーピングの知識を基礎から学び地域医療へつなげる事をお話いただきました。

朝霞地区のスポーツファーマシストや学校薬剤師、実習生も含めて30名以上の参加が有り、競技別の禁止薬物の検索方法やサプリメントの安全性について、学生さんの協力を得ながら学ぶことができ、学校薬剤師として、くすりを正しく使用するための大切な学びとなりました。

また、永年学校薬剤師を努められた新座市の熊田美智子先生へ感謝状が贈られました。

広報委員 清水 勝子・新倉健康薬局



おすすめの本

「チ。地球の運動について」

魚豊 著（小学館）



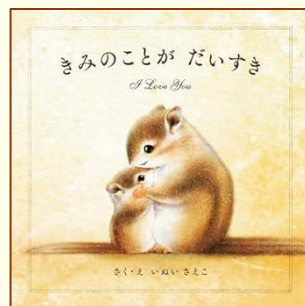
今から遠い昔。15世紀のヨーロッパを舞台に、星たちが輝く夜空から宇宙の法則の美しさ（地動説）に魅了され、自分の命をかけてまで、真理とはいったいなんなのかを追求し、その思いを次の時代の同じ思いの者に託そうとする異端者とみなされた人々と、

宗教上その思想を絶対によしとしない異端審問官との、信じるとはいったい何なのかを問う物語。本の最初に書かれている「一体何を捧げれば、この世の全てを知れるのか」という問いには、わが娘と一緒に考えさせられました。学ぶこと、考えることの本当の意味を、きっと知りたくなるようなそんな一冊だと思います。いつの時代でも、星いっぱい夜空って夢があって素敵なんですね。

理事・広報委員 金子 修治・ミドリの薬局

「きみのことがだいすき」

いぬい さえこ 著（パイインターナショナル）



大切な人と読んで欲しい、たくさんの愛を伝えられるメッセージ絵本です。と作者からの言葉がありました。ふんわりとした優しい絵が、つい忙しいと忘れがちになる気持ちを思い出させてくれる絵本です。

日常で怒ってしまう事は多々あると思います。自分がこの絵本を読むときは、子供についてイライラしてしまった後、反省しながら眺める事が多いです。言い過ぎたかな？やり過ぎたかな？と考えた時に読んでもらいたい1冊です。日々の業務の中で荒んだ気持ちになってしまった、心が疲れたしんどいと感じた時に読んでもらって、少しでも心のささくれが小さくなれば幸いです。そんな本の一冊に加えてみてください。

理事・広報委員長 関 昌之・ウイン調剤けやき薬局

コラム

先日、知り合いの方のフラメンコ発表会に行きました。フラメンコ鑑賞は初めて。以前体験レッスンに参加した事がありましたが、あまりの手足の複雑さにギブアップした事もあり、とても楽しみでした。

当日会場は多くの方でにぎわっていて、いざ発表会が始まると歌とギター演奏とともに皆さんいきいきと踊っていらして、ライブならではの臨場感あふれるとても素敵な発表会でした！

約1年前から五十肩で悩まされている私にとって、早く治して見習いたいと改めて思った1日でした。もちろんフラメンコはセンスなく到底無理ですが・・・。



広報委員 磯村和美・かくの木菅沢薬局

俳句を楽しむ



渡邊 みち草
（理事 渡邊 美知子）
あさか台わたなべ薬局

ほろ酔いの小雨上がりの宵月夜

長き夜のパソコン画面固まりぬ

両の手の梨の重みの豊かなり

ごろごろに耳ふさぐ猫稻光

露草の裏庭づたひ風の道

会報アンケートにご協力ください。

今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。記事へのご意見、ご質問もお待ちしています。



◆9月20日（土）納涼会 開催します♪

イタリアン食堂 アルカティ（朝霞駅東口徒歩0分）
左記案内参照。会員、非会員問いません。
皆様ぜひご参加ください。



編集後記

薬局薬剤師の仕事は薬局調剤以外、居宅在宅、施設調剤など、患者様に関わる仕事をする事が増えている。

施設で医師と同行した時に、ターミナルに近い患者様のご家族に相談するところに同席した。看護師はご本人から、『苦しいのは嫌だ』『胃腹したくない』『食事を食べたい』『死にたくない』とお話をうかがっていた。

ご家族は何度も施設と話し合っているが、いざターミナルが近くなると、説明を聞いているうちに混乱してしまう。医師はご家族にひとつずつ根気強く丁寧にお話している。

患者様、ご家族に寄り添うことを薬剤師の仕事として、何ができるか考えていきたいと思う。

副会長・広報委員 内野 裕嗣・さつき薬局

（一社）朝霞地区薬剤師会
朝霞市西弁財1-10-21-312

TEL：048-483-4125

FAX：048-483-4126

